

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆家計の貯蓄2059万円で過去最高 余力の運用、定期預金からNISAに

・株高を背景に家計の貯蓄額がふくらんでいる。総務省の家計調査(2人以上世帯)によると、2025年は1世帯あたり平均2059万円で前年から3.8%増え、比較可能な02年以降で過去最高。貯蓄の種類別にみると、株式や投資信託などの有価証券は63万円(16.7%)増の440万円と3年連続で前年を上回った。普通預金などの通貨性預貯金が710万円。

◆正社員の4割が25年に夏バテ経験、6割が「業務に影響」 民間調査

・マイナビが発表した夏バテと仕事に関する調査によると、正社員の38.1%が2025年に夏バテを経験したと回答。集中力や食欲の低下などが業務に影響。具体的な症状(複数回答)について「強いだるさ・疲労感を感じた」が最多で51.0%を占めた。「やる気が出ない・モチベーションが落ちたと感じた」が40.8%、「食欲が落ちた」が39.3%で続いた。

◆人気キャラで硬貨発行、法改正視野に財務省が検討会 財源への期待も

・財務省は人気キャラクターをあしらった硬貨発行の検討を始めた。現在の法律では国家的な記念事業でしか特別な貨幣を発行できない。日本のコンテンツを発信し、財源確保にもつながるような制度について、法改正も視野に議論を進める。今の法律ではコレクター向けにマンガやアニメなどのキャラクターを使った硬貨は発行できない。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆25年の建設業倒産は2014件、4年連続増加 商工リサーチ

・東京商工リサーチは2025年の建設業の倒産件数が24年比5%増の2014件だったと発表。4年連続で前年を上回り、13年以來12年ぶりに2000件を超えた。業種別でみると「総合工事業」(ゼネコン)の倒産は774件だった。13年比で33%減少。「職別工事業」は13年比10%増の814件。職別工事業が総合工事業を上回るのは00年以降で初めて。

◆ステンレス鋼板4%高 半導体ブームで恩恵、流通価格2年ぶり上昇

・建設・製造業で幅広く使うステンレス鋼板の流通価格が2年ぶりに上昇。指標品種は現在、6月比で4%高い。メーカーの値上げが、鋼材問屋や加工業者、需要家の間での取引価格に一部波及。半導体製造装置向けなどの需要回復も価格上昇を後押し。ステンレスは特殊鋼の一種で、鉄にクロムやニッケルを加えることでさびにくい特性を持つ。

◆家電製品協会、「ZEHコーディネーター」試験 9月に実施

・家電製品協会は省エネ住宅の提案力向上を図る資格制度「ZEHコーディネーター」の認定試験を実施。7月1日から資格認定試験の受験申請の受付を開始。申請期間は8月10日まで。試験は9月1～14日に実施。住宅営業やリフォーム提案の現場では省エネ性能や補助制度、エネルギーコストまで踏まえた提案力が求められる。

《 注目商品 》

■ハイエンド向けキッチンにミラノを表現した新モデル

・トーヨーキッチンスタイルは、ハイエンド向けシステムキッチン「iNO Milano(イノ ミラノ)」を発売。イタリア・ミラノのまちから着想を得て、重厚な石造りの建築物が連なる風景と最先端のデザインが生まれる都市をマットなモトーンとアルミフレームで表現。



■パロマの給湯器リモコンとホームリンクがAPI連携

・スマートホーム統合アプリ「HomeLink(ホームリンク)」から、パロマの給湯器リモコンを操作できるサービスを開始。「あったかホッと給湯」では、無線LAN対応の給湯器リモコンをスマートフォンから操作することで「自動お湯はり」「ふろ予約」を遠隔設定。



■ノダ、地域材を使った軽土足用床材

・非住宅建築物向けに地域材を活用したフローリング「地域材対応床材(軽土足用)」の受注生産体制を整備し、提案を開始。基材には静岡県産のヒノキ・スギを組み合わせたハイブリッド合板を採用。天然木ならではの質感を生かしながら、公共施設などでも使用できる耐久性・施工性。

